

富士画像診断ワークステーション用プログラム FS-CV682 型 サイバーセキュリティの対応方針について

2024年4月初版

1. セキュリティポリシー

富士フイルムメディカルが製造販売する医療機器プログラムにおいて、患者さん、お客さま、およびお取引先さまの信頼にこたえ、品質の高い製品・サービスを提供し続ける上で、重要課題のひとつであるセキュリティの維持向上に向け、製品・サービス セキュリティポリシーを定めます。

(1) 製品・サービスセキュリティに関するルールの整備と実施

日本国内で適用される法令や規制を順守するために、規程やガイドラインなどのルールを整備し、それに基づいた製品の設計・開発を実施します。

(2) 製品・サービスセキュリティ管理体制の確立

製品・サービスセキュリティ対策を適切かつ確実に実施するため、体制と責任を明確にします。

(3) 製品・サービスセキュリティに関する教育

製品・サービスセキュリティ対策を適切かつ確実に実施するため、製品・サービスセキュリティに関する啓発と教育による意識向上と、製品・サービスセキュリティに関する諸規定の整備とその遵守の徹底を図ります。

(4) 製品・サービスセキュリティ対策の継続的改善

法令や規制の要求事項の変化や技術革新に対応するため、規程やガイドラインを定期的および必要に応じて見直し、継続的な改善・向上に努め、製品・サービスセキュリティ水準の維持と向上を図ります。

(5) 製品・サービスセキュリティインシデントへの対応

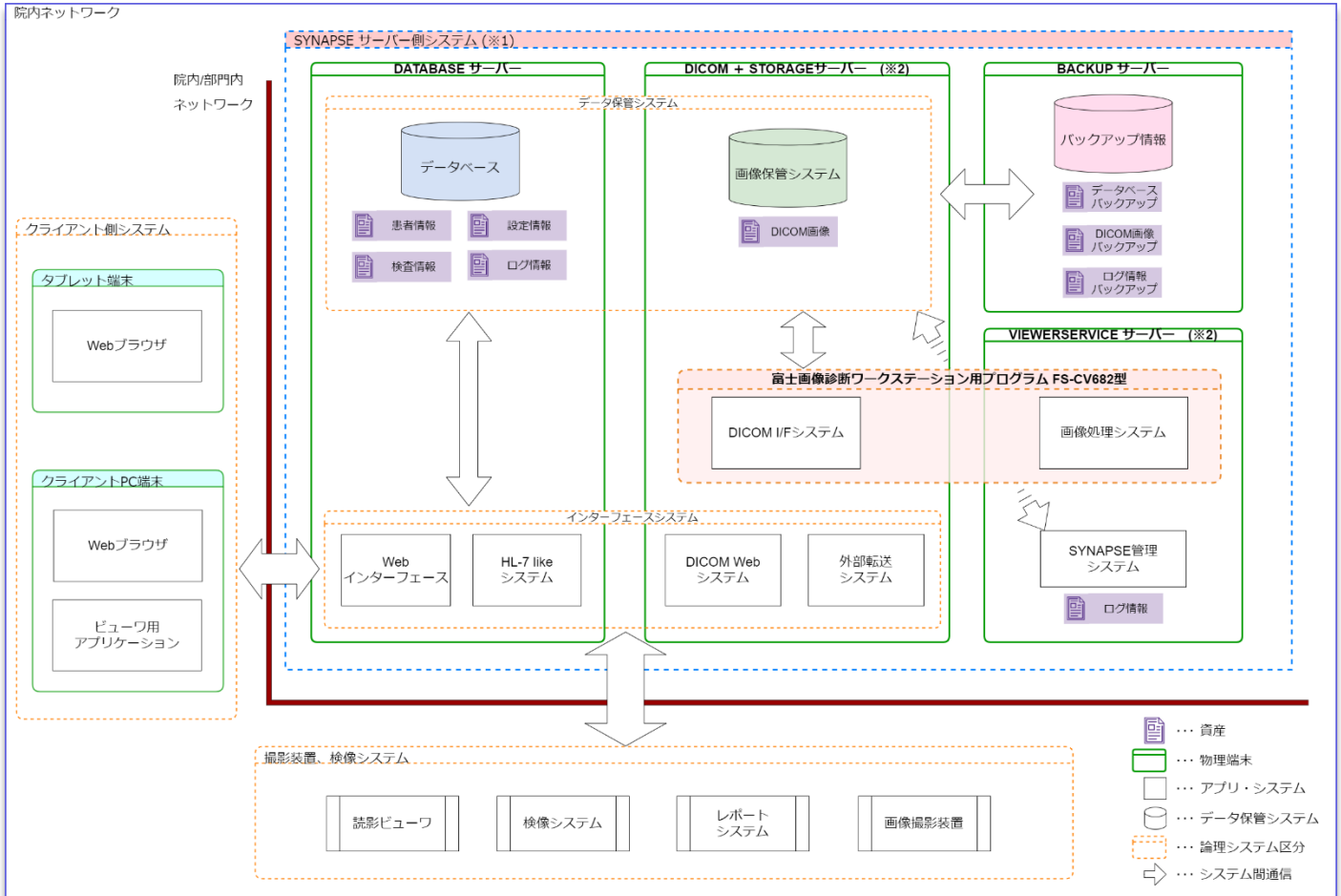
社内外からの製品・サービスセキュリティ報告を収集・分析し、インシデント防止に努め、インシデント発生時には迅速に対応できる仕組みを確立します。

(6) 製品・サービスセキュリティインシデントの未然防止

製品（OS やミドルウェアなどの OTS ソフトウェアを含む）の脆弱性を監視・分析し、必要となる対策を行う仕組みを構築し、製品・サービスセキュリティインシデントの未然防止に努めます。

2. システム構成図

富士画像診断ワークステーション用プログラム FS-CV682 型のシステム構成図を記載します。



(※1) 中・小規模向け構成の場合、SYNAPSEサーバ側システムの機能が1台のサーバに統合されている場合があります。
(※2) 各サーバが複数台設置される場合があります。

図 1. システム構成図

3. 保守計画について

3.1. EOL/EOS と 3 つの保守期間

EOL/EOS は以下の方針となります。また、これを境に保守期間を「サポート期間」「限定的サポート期間」「サポート終了期間」の 3 つに分けます。

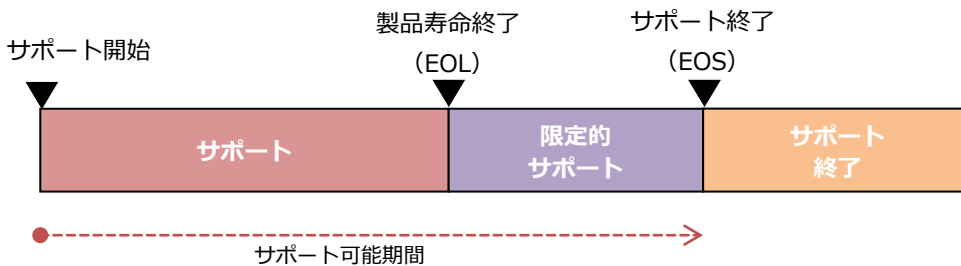


図 2. EOL/EOS と 3 つの保守期間

- EOL 日 / EOS 日の方針について
 - **ただいま準備中です。決まり次第、本 Web ページ内にて改めて通知いたします。**
- サポート期間/限定的サポート期間におけるサポート内容について
 - 対応が必要な脆弱性に対してはセキュリティアップデートを準備します。
- サポート終了後（製品買い替えについての提案）について
 - レガシー医療機器となり、セキュリティに関する責任はお客様へ移転します。
 - 脆弱性対応を含めたセキュリティアップデートは実施しません。

3.2. ソフトウェアのセキュアな使用停止(廃棄)について

ソフトウェアの使用停止する際は下記の作業を実施することを推奨します。

- a) 使用停止後の本ソフトウェアのアンインストール
- b) システム環境に保存されていた患者データおよび設定データの削除
- c) 本製品に保存されていたデータのセキュアな転送、移行、アーカイブ及び削除
- d) c)に記載するような削除ができなかった製品ソフトウェアに含まれるデータ漏洩を防ぐための製品ソフトウェアの安全な廃棄

以上